

## 秋季記録会兼5000・10000m県選手権 選手注意事項

令和2年11月14日(土)熊谷陸上競技場  
(新型コロナウイルス感染防止対策)

1. 競技中の疾病、傷害などの応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない
2. 参加選手はすべての行動に対して、責任を負うものとする
3. 大会運営は埼玉陸協の競技会再開に向けたガイダンスに則り行う
4. 以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせる事(大会当日に書面で確認)
  - (1) 体調が良くない(平熱より1度以上体温が高い・咳・咽頭痛などの症状)
  - (2) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - (3) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
5. 競技中を除いたマスクの着用
6. こまめな手洗い・手指の消毒・洗顔を行い、清潔を保つ
7. 3密を回避 ※ソーシャルディスタンスの確保(できるだけ2m以上)
  - ・密閉空間(換気の悪い密閉空間)
  - ・密集場所(多くの人々が密集している)
  - ・密接場面(お互い手を伸ばしたら届く距離での会話や発声)
8. 運動中は唾・痰を極力吐かない
9. 滑り止め(炭酸マグネシウム)の利用は共有しない。各自用意する事
10. 競技場内では大きな声での会話・応援の禁止
11. ウォーミングアップは選手独自で行い、付添は禁止
12. 更衣室・シャワーの利用については原則禁止とする
13. ゴミは各自が持ち帰り廃棄する
14. 万が一体調不良が生じた場合、チーム責任者を通じて事務局に連絡すると共に緊急を要する場合は直接、医師の診察を受ける
15. 大会当日は無観客とはしないが、応援は極力控えて頂き、応援者の競技終了後は、観戦を認めない

**※ 参加選手・マネージャー・付添は大会1週間前より「体調管理チェックシート」を記録し、それを基に「宣誓書」を作成して当日、受付に提出しなければ参加を認めない。**  
**(用紙は陸協ホームページに掲載中の競技会再開に向けたガイダンス(改訂版)の中にあります)**